

意見交換会資料

市川 宏雄

明治大学名誉教授

日本危機管理防災学会会長／日本テレワーク学会会長

新型コロナのこの先の流行(4つのシナリオ)

シナリオ①: 7月から8月にかけて一応収束する

- 散発的な感染者発生、クラスター発生が起きるが、7月に入ると概ね収まり始める。
- 自粛していた企業活動が再開し、9月に入る頃には7~8割の状況にもどる。人々は気をつけながら生活を送るが、人の集まる施設では定員を半分以下に制限を続ける。

シナリオ②: 冬になって再び流行が始まり、活動の自粛が行われ、業務が停滞する。ワクチン、治療薬は未だ完成しない。

- 再び感染者発生、クラスター発生が起き、変異したウイルスが新たなフェーズに移行する兆しとなる。

シナリオ③: 冬が明けて春になる頃にワクチン、治療薬の有効なものがとにかく開発され、夏までには以前の状況に近いレベルまで活動が復活する。

- 自粛していた企業が経済活動を再開するが、勤務形態の多様化、オフィス空間レイアウトの変更、新たなウイルス対応の設備などが導入される。
- 新型コロナウイルス以前に比べて、人の移動が相対的に減少し、公共交通機関の運営に新たな知恵が必要となる。海外からの訪問客の復活には数年かかる。

シナリオ④: 来年の夏になっても地球上のどこかで発症が続き、長期化の懸念

- サーズ、マーズ、エボラ熱の例とは新型コロナが異なる軌跡をたどる(予知不能)

この後の展開は

- ウイズ・コロナ：半年、1年、2年 ワクチン、治療薬ができるまでの期間
- アフター・コロナ：ワクチン、治療薬ができたあと

- アゲインスト・コロナで実行していること

3密からの逃避：密閉、密集、密接

会社に行くな → テレワークで仕事をしろ

映画館、劇場に行くな → 我慢して自宅で見ろ

スタジアムに行くな → 観戦はテレビで

満員電車に乗るな → 車か自転車を利用

- 3密の否定は都市存立のアンチテーゼ

新しい異常が新しい日常になるか

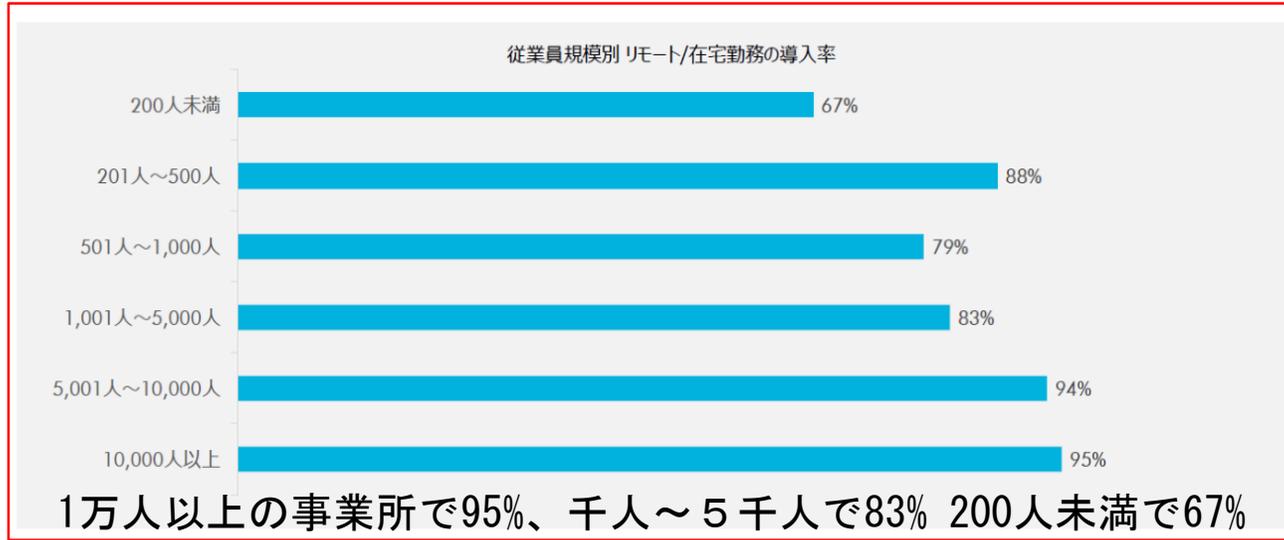


ウィズコロナ/ポストコロナの都財政への影響

- ・新型コロナウイルス感染症対策のため、今年3月から切れ目なく対応
さまざまな財源を活用し、1兆円を超える予算措置
- ・財政再建後は、計画的に基金積立を行い、特定目的基金を積極的に活用
税収の急激な落ち込みや突発的かつ巨額の財政需要に財政調整基金を活用
⇒2020年度は約9,000億円が807億円まで減少（19年度決算見込を反映、二定補正予算後残高）
- ・事業評価を通じた徹底した歳出の見直しを実施し、平成29年度以降、約3,500億円の
財源確保を達成（直近3年間は、年に約1,000億円ペース）
- ・世界に類を見ないスピードで進展する高齢化（民生費）、老朽化した社会資本ス
トックの維持更新などのための費用（土木費）が今後増加
- ・新たな財源はどこにあるのか。都市開発における容積率緩和を武器にした民間企業の参画促進の
成功に学ぶ。容積率を緩和しても行政は一文もお金を使わずに済む。他にも宝は多数ある。

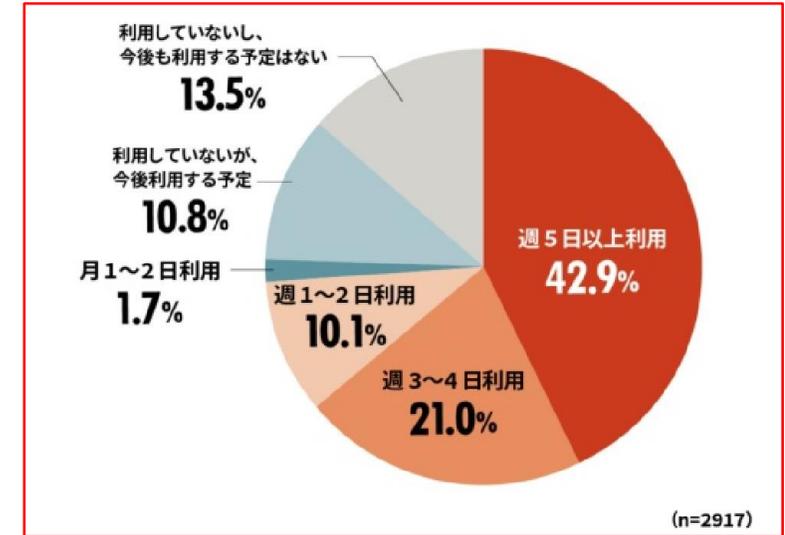
今年度の日本の経済成長率は-6.1%**（世界銀行推計 6月8日）**
ウィズコロナが長期化（1年以上）したらどうなるのか

ウィズコロナ/ポストコロナで事業・働き方に対する考えの変化



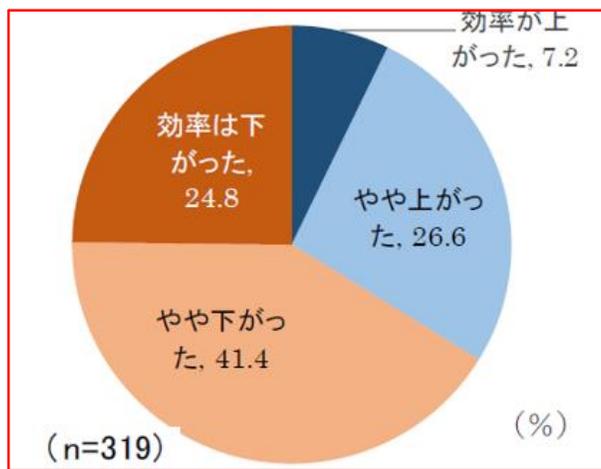
(従業員規模別リモート/在宅勤務の導入率 CBRE資料)

テレワークの利用率 (75.7%)



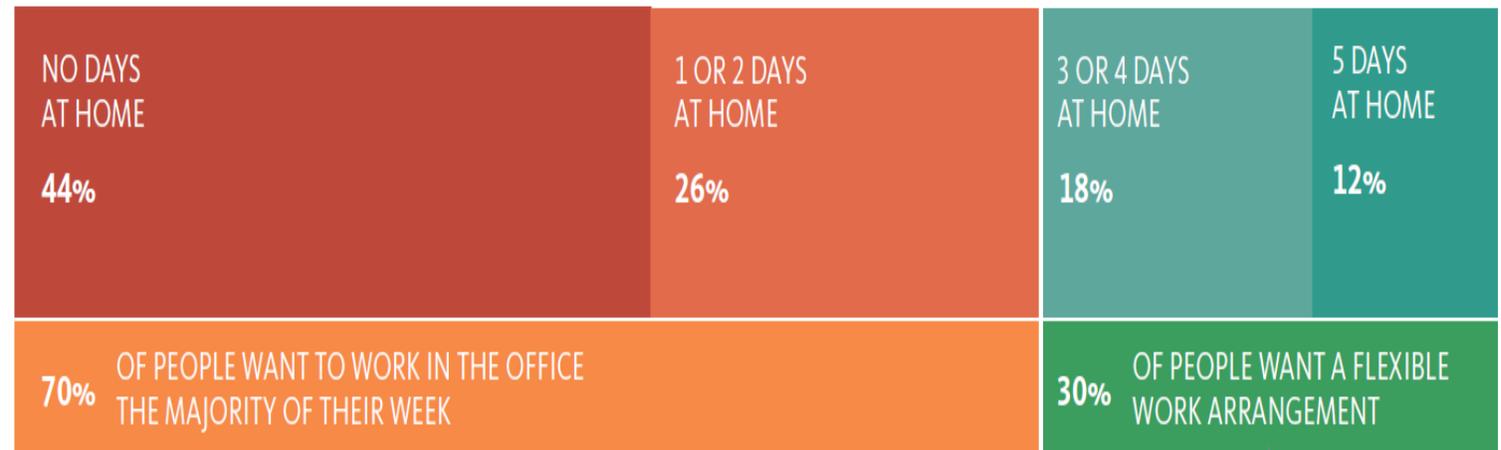
(日経BP総研 イノベーションICTラボ)

自宅勤務の効率性 (下がった66.2%)



(日本生産性本部資料)

これからもテレワークで働きたいか



週5日の在宅勤務希望は12%、オフィス希望は44%、併用希望は44%。(米国Gensler社調査)

メインオフィスの環境整備とワーキングスペースの増加

フリーアドレス・オフィスの導入



(ZAC資料)

メリット

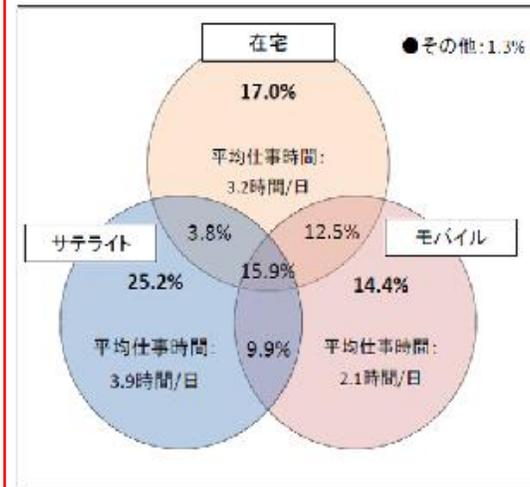
- ・社内コミュニケーションが活性化する
- ・スペースコストの削減になる
- ・毎日新鮮な気持ちで仕事に取り組める
- ・自由な行動スタイルが身に付く
- ・私物の整理整頓がすすむ
- ・ペーパーレス化が進む

デメリット

- ・結局、席が固定化されてしまう
- ・部署内のコミュニケーションが希薄になる
- ・席が変わるので集中しにくくなる
- ・荷物置き場がない
- ・モバイルワークためのシステムが必要
- ・他人の使った机を使いたくない

テレワークをどこでやるか

日本テレワーク学会



(国土交通省)

3つの意識改革

- 1 社会的認知の醸成
- 2 企業・組織における業務多様化・効率化と社員への適切な業務評価
- 3 多様な働き方への自己認識の改革

2つの制度システムの改革

- 4 法制度の整備による新たな労働形式の導入
- 5 環境整備のための具体的な方策

オフィス空間に緑を取り組むバイオフィリックデザイン (Biophilic Design) が注目されている。人間には先天的に「自然を好む性質=バイオフィリア」がある。

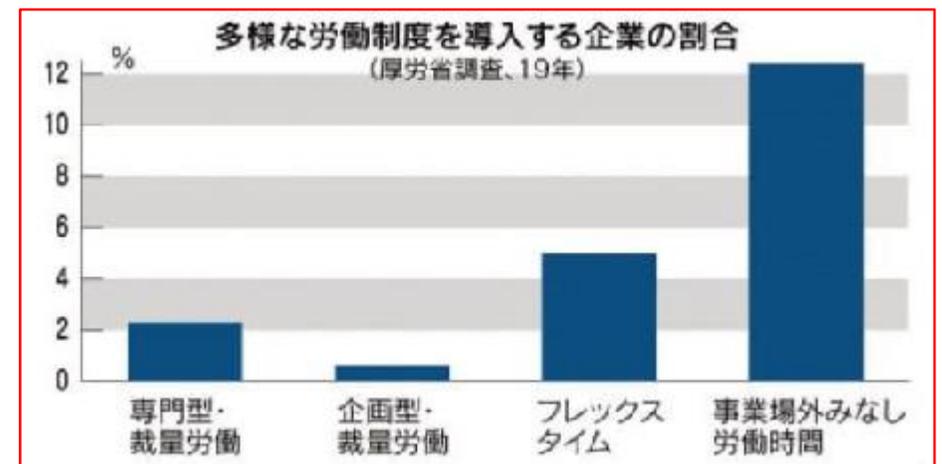
The benefits of office plants

- ・ Plants boost productivity
- ・ Plants improve air quality
- ・ Plants improve office acoustics
- ・ Plants are attractive

(plant club記事)



テレワークでの業績評価が難しい



(日本経済新聞)

ウィズコロナ/ポストコロナの東京の国際競争力をどう上げる

ロンドン 《1位》

ニューヨーク 《2位》

東京 《3位》

GPCIの指標変化
↓
3都市ともダメージ
↓
いち早く立ち上がる東京
↓
文化交流機能をハードとソフトの融合で強化する
↓
東京にキラコンテツが必要



経済

市場の規模	1	GDP	3都市とも評価ダウン！ UNIDOの予測によれば、先進国におけるGDP成長率は-7.8%の予測		
	2	1人あたりGDP			
市場の魅力	3	GDP成長率	3都市とも評価ダウン！？ (英国、米国、日本ともに、中央銀行による株価の下支え策があるものの、効果は一時的か？)		
経済集積	5	証券取引所の株式時価総額			
人的集積	7	従業者数	減少↓ コロナ後の英国失業手当受給数 210万人 (2020年5月時点)	大幅減少↓ コロナ恐慌による米国失業者数 2500万人 (2020年5月時点)	減少？ 2020年4月時点の日本の休業者数 597万人
	13	政治・経済・商機のリスク	3都市とも評価ダウン！？ 新型コロナウイルスによる、ビジネスの継続性の難しさなどが反映される可能性がある。		



研究・開発

研究環境	17	留学生数	減少↓ 渡航制限による留学生数減	大幅減少↓ 渡航制限による留学生数減 (UNWTOの予測では米国の渡航制限の解除は2021年)	減少↓ 渡航制限による留学生数減
イノベーション	21	スタートアップ環境	3都市とも評価ダウン！？ 経済悪化に伴いベンチャー企業への投資が冷え込む可能性がある。 (アセット価格が下がることに伴い、コロナ収束期に一気に新規ビジネス投資が活発になる可能性も有る)		



文化・交流

発信力	22	国際コンベンション件数	3都市とも評価ダウン！？ 渡航制限や3密の回避の観点から、Face to Faceのコンベンション件数は激減 (ネット上では国を跨いだ各種Webinarなどが開催されており、これらを含めれば結果は異なるかもしれない)		
	23	文化イベント開催件数	3都市とも評価ダウン！？ 3密の回避の観点から、Face to Faceの文化イベント件数は激減 (ネット上では、オンラインライブイベントや、VRによる美術鑑賞が行われている。 これらを含めれば結果は異なるかもしれない)		
外国人受入実績	36	外国人居住者数	減少↓ 渡航制限による新規居住者減	大幅減少↓ 渡航制限による新規居住者減 (UNWTOの予測では米国の渡航制限の解除は2021年)	減少↓ 渡航制限による新規居住者減
	37	外国人訪問者数	減少↓ 渡航制限による外国人観光客数減	大幅減少↓ 渡航制限による外国人観光客数減 (UNWTOの予測では米国の渡航制限の解除は2021年)	減少↓ 渡航制限による外国人観光客数減



居住

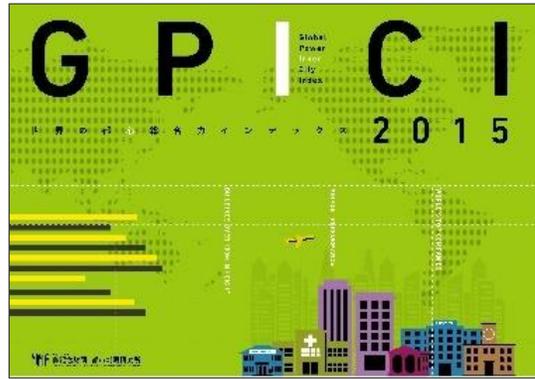
就業環境	38	完全失業率の低さ	わずかに悪化↓ 2020年1月~3月期英国失業率 3.9% (前年同期比+0.1)	大幅に悪化↓ 2020年5月米国失業率 13.3%	わずかに悪化↓ 2020年4月失業率 2.6% ※数字に表れていない隠れ失業者(休業者)が多くいることに留意
------	----	----------	---	---------------------------------	---



交通・アクセス

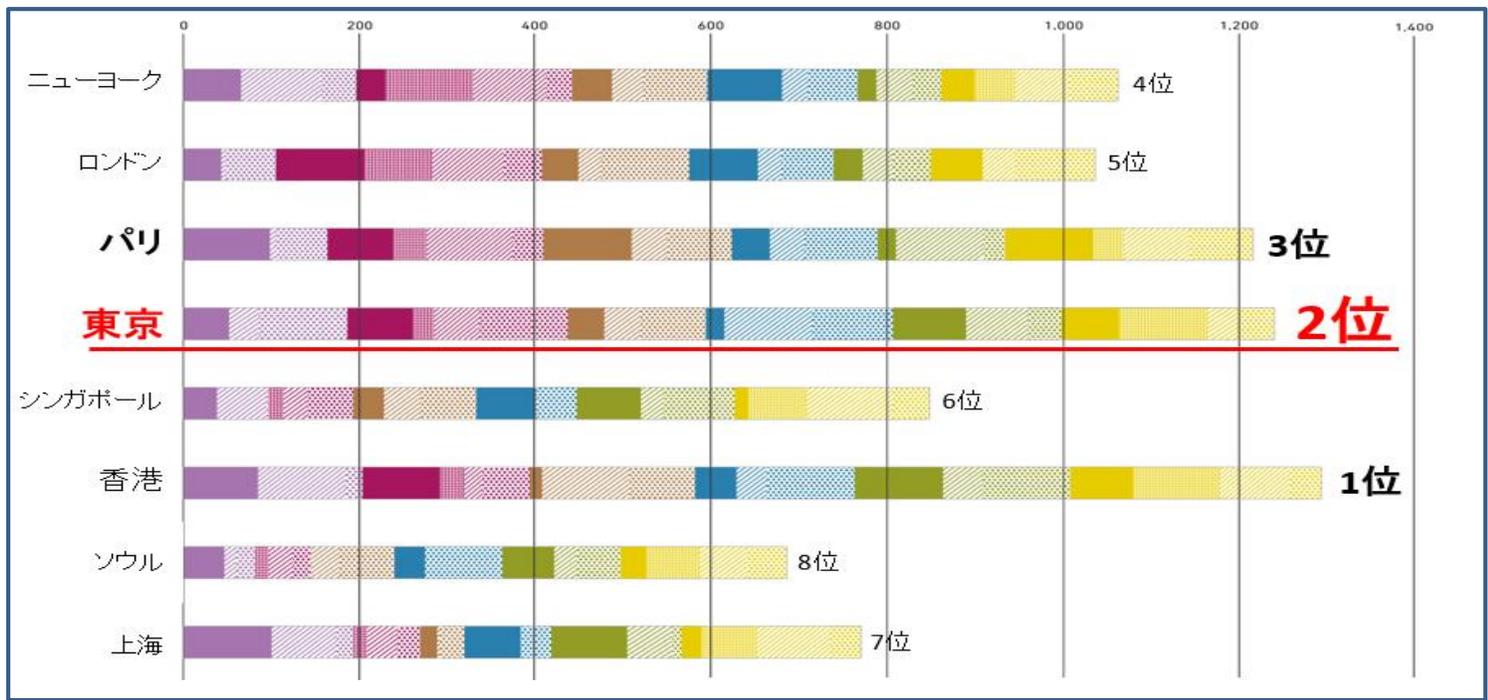
航空キャパシティ	63	国内・国際線旅客数	減少↓ 渡航制限による観光・ビジネスフライト減	大幅減少↓ 渡航制限による観光・ビジネスフライト減 (UNWTOの予測では米国の渡航制限の解除は2021年)	減少↓ 渡航制限による観光・ビジネスフライト減
都市内交通	66	公共交通機関利用率	3都市とも減少↓！？ 3都市ともに、主要公共交通機関である鉄道の利用率が減少している他、英国、米国では自転車での移動を推奨しており、減少が見込まれる。		

世界の都心総合カインデックス Global Power Inner City Index

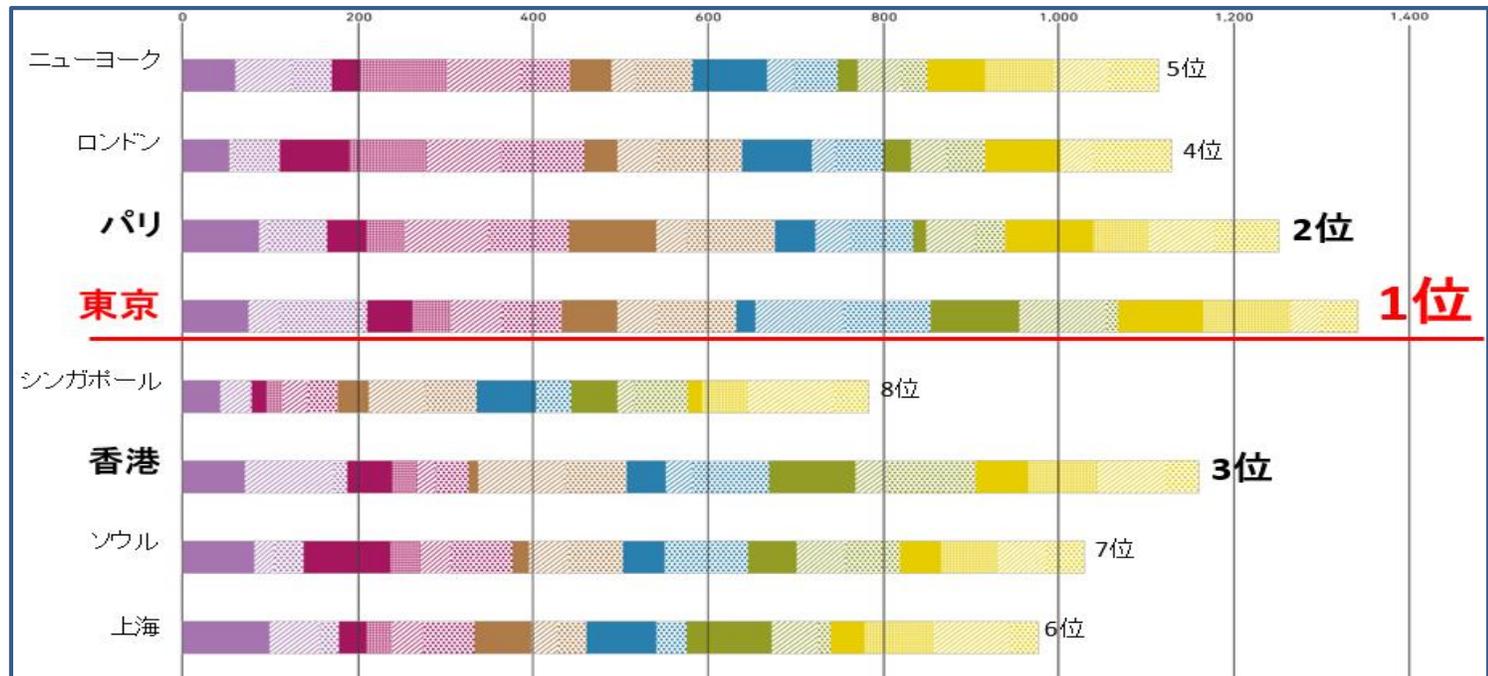


5km圏

1. 活力	1-1. 人口	1-2. 高さ100m以上のビル	1-3. 世界トップ企業
2. 文化	2-1. 世界トップ大学	2-2. 劇場・コンサートホール	2-3. 美術館・博物館
3. 交流	3-1. コンベンション・センター	3-2. インターナショナル・スクール	3-3. 大使館・領事館
4. 高級感	4-1. ラグジュアリーホテル	4-2. 世界トップ・レストラン	4-3. ラグジュアリーファッションブランド・ショップ
5. アメニティ	5-1. 大規模ショッピング・センター	5-2. 総合病院	5-3. 公園・緑地
6. モビリティ	6-1. 駅（地下鉄・鉄道）	6-2. 高速道路	6-3. 空港（アクセス・利便性）
			6-4. 空港（キャパシティ・実績）

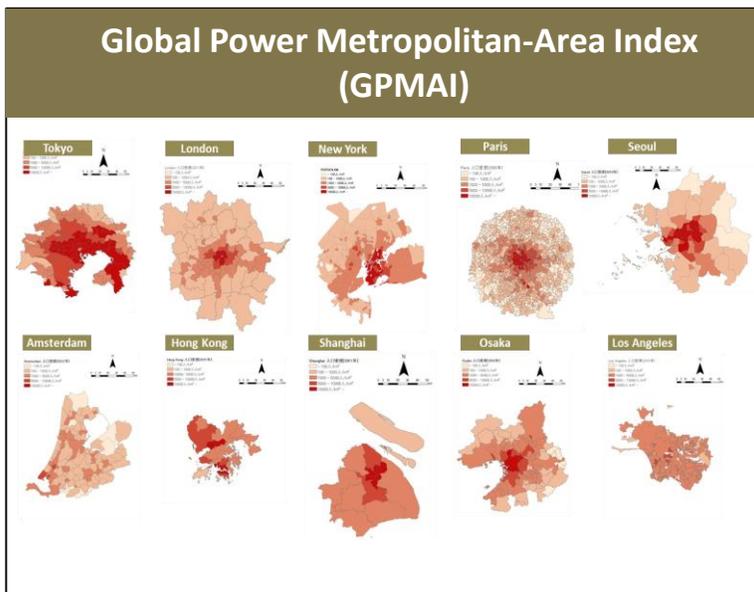


10km圏

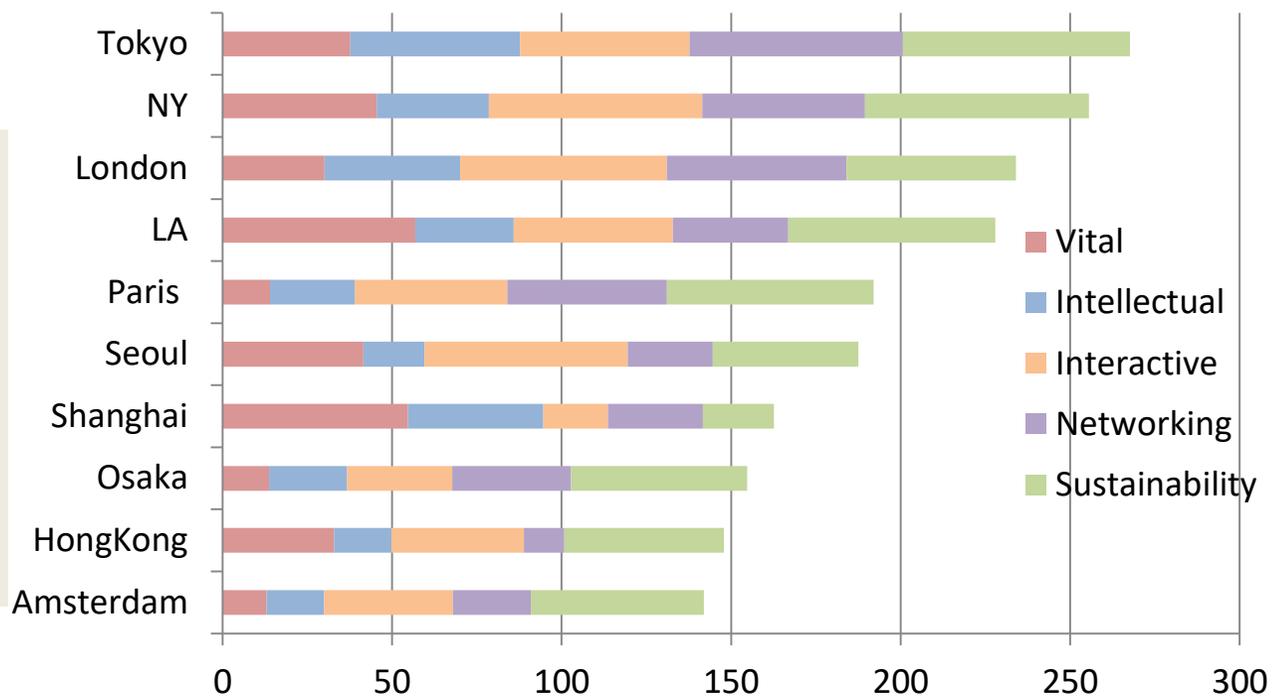
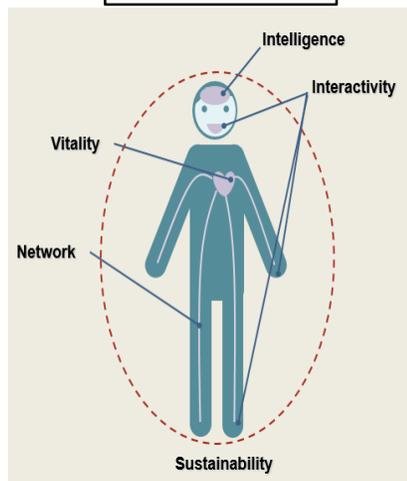


世界の都市圏総合カインデックス

Global Power Metropolitan Area Index



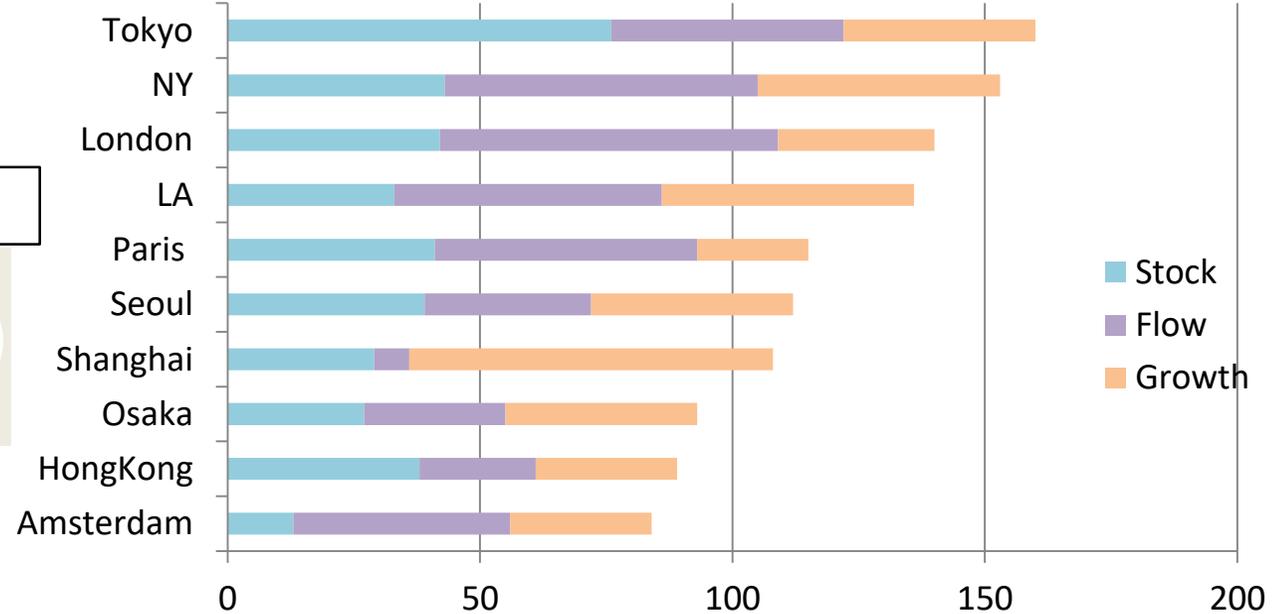
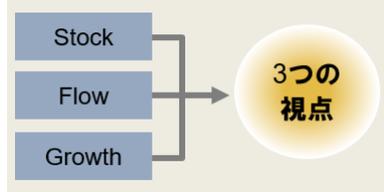
機能評価



都市圏(50km)の対全国シェア

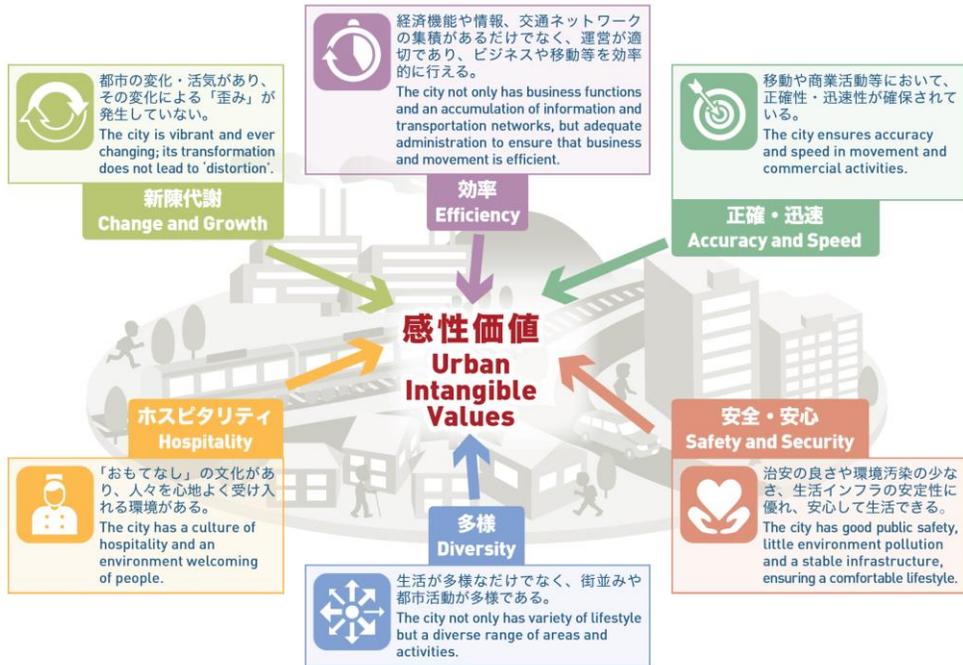
	TOKYO	LONDON	NEW YORK	PARIS	SEOUL
	O	ON	YORK	PARIS	L
都市圏人口比率 [%]	25.3	23.4	5.2	18.0	51.1
都市圏従業者比率 [%]	25.8	23.7	5.3	21.7	37.3
都市圏GDP比率 [%]	28.4	22.2	8.6	29.8	48.9

ダイナミズム評価

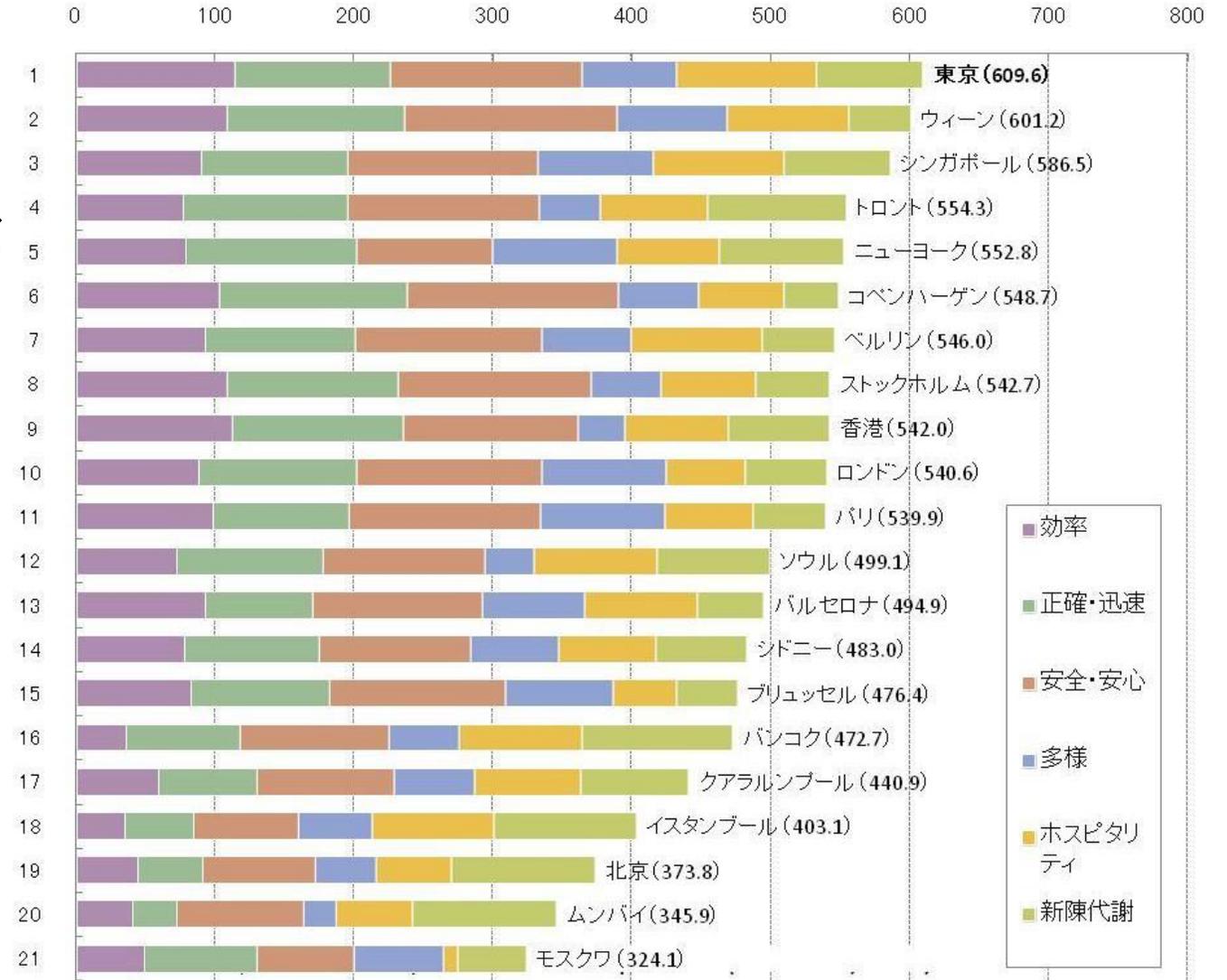


「アーバン・インタangible・バリュー」 (UIV: 都市の感性価値)

アーバン・インタangible・バリューを「効率」、「正確・迅速」、「安全・安心」、「多様」、「ホスピタリティ」、「新陳代謝」の6つの要素に基づいて評価を行う。



(人の感性に基づくソフト評価)



ポストコロナ・ポスト五輪：東京の都市力を2030年までに世界一にする

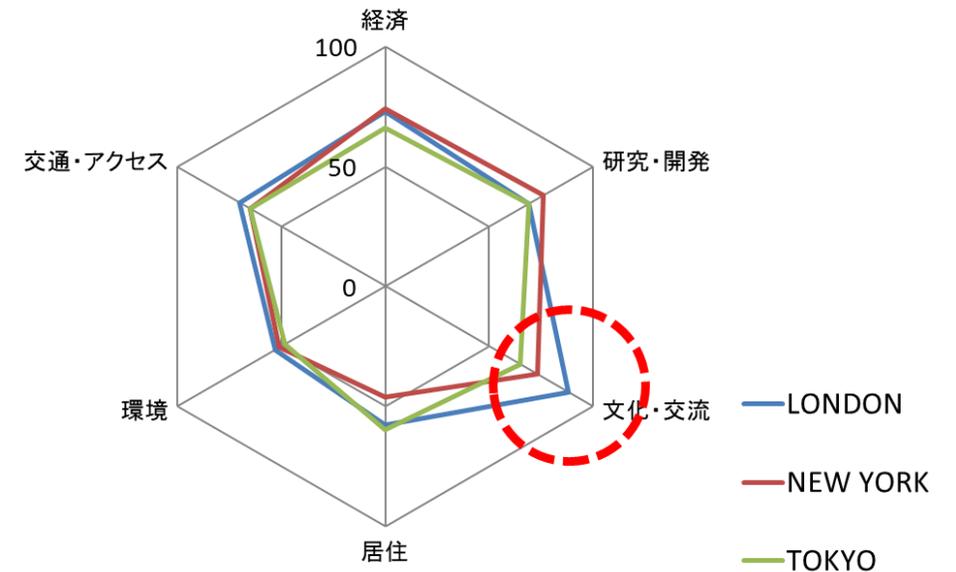
世界レベルの都心の拠点群をハードとソフトの相乗化でパワーアップ

ロンドン、ニューヨークに比して東京が比較優位にあるのは同時多発的に各エリアで行われている東京の世界トップレベルの都心開発。2025～2026年頃に拠点の整備はほぼ完了する。そして2027年にリニア新幹線開通で名古屋が東京経済圏に組み込まれる。

最大の懸念はこれらの拠点のポテンシャルを生かして相互に連携することによって東京の都市力を高める姿が見えてこないこと。実は東京には多種多様なイベントが存在しているが、それらをこの都心の拠点の活動とインテグレートして、ロンドン、ニューヨークにないハードとソフトの相乗を持った都市として世界に標榜することができる。

国際交流創造都市 GIC CITY TOKYO の実現で東京の新たなキラコンテンツの創出を図る。
ファッションの都・パリ、ブロードウェイミュージカルのニューヨーク、〇〇の都・東京

文化・交流の力を上げるのが愁眉の急



出典：Global Power City Index, (GPCI) 2018
「森記念財団 都市戦略研究所」